

《第137回》 令和六年十一月の作品

十一月八日（金） 於・文京区民センター2E

落葉して向かひの家の灯の近し (隆治)

小春日や大道芸に人集り (貴美)

田中一村展

一村に惹かれ上野の秋を行く (芙紗)

言問の謂れ^{いは}知るかや都鳥 (正雄)

矢島渚男氏文化功労者

日々研げる句道に光菊薫る (正佳)

立ち寄りし古刹しづかや実南天 (一江)

やうやつと店に新米並^{たな}びけり (孝昭)

釣瓶落し妻を待ちつつ角に立つ (奉男)

退院や前へ前へと落葉踏む (前歩)

故郷をしのび一人の墓参り (平六)